

3.3.3 性能照査	946	3.10.2 基本断面の設定	970
3.3.4 構造部材の性能照査	948	3.10.3 作用	970
3.3.5 構造細目	948	3.10.4 性能照査	970
3.4 重力式防波堤（消波ブロック被覆堤）	949	4 生物共生型防波堤	974
3.4.1 一般	949	5 親水性防波堤	977
3.4.2 基本断面の設定	950	6 高潮防波堤	978
3.4.3 作用	950	6.1 一般	978
3.4.4 堤体の全体安定性に関する性能照査	950	6.2 基本断面の設定	978
3.4.5 堤体の全体安定性に関するその他の性能照査	951	6.3 作用と性能照査	978
3.4.6 構造部材の性能照査	951	6.4 構造細目	978
3.4.7 構造細目	951	7 津波防波堤	979
3.5 重力式防波堤（直立消波ブロック堤）	952	7.1 一般	979
3.5.1 一般	952	7.2 耐津波設計の基本的考え方	980
3.5.2 基本断面の設定	952	7.2.1 設計津波	980
3.5.3 作用	953	7.2.2 設計及び性能照査の順序	980
3.5.4 堤体の全体安定性に関する性能照査	953	7.3 基本断面の設定と配慮すべき事項	982
3.5.5 構造部材の性能照査	954	7.3.1 基本断面の設定	982
3.6 重力式防波堤（消波型ケーソン堤）	954	7.3.2 基本断面の設定にあたって配慮すべき事項	982
3.6.1 一般	954	7.3.3 断面諸元の設定	983
3.6.2 基本断面の設定	954	7.4 設計津波の作用	983
3.6.3 作用	955	7.4.1 津波に先行する地震動等の設定とその影響評価	983
3.6.4 性能照査	955	7.4.2 津波の作用に関する留意点	984
3.6.5 構造部材の性能照査	955	7.4.3 堤体の安定性に関する性能照査	984
3.7 重力式防波堤（斜面型ケーソン堤）	956	7.4.4 津波の流れに対する基礎マウンド及び海底地盤の安定性	989
3.7.1 一般	956	7.4.5 腹付工	991
3.7.2 基本断面の設定	956	7.5 「設計津波」を超える規模の津波に対する「粘り強い構造」の検討	991
3.7.3 作用	957	7.5.1 一般	991
3.7.4 性能照査	957	7.5.2 防波堤に対する「粘り強い構造」の考え方	991
3.7.5 構造部材の性能照査	958	7.5.3 付加的な対策の段階的検討	992
3.8 杭式防波堤	959	7.5.4 防波堤の「粘り強い構造」の効果の確認	993
3.8.1 一般	959	7.6 津波防波堤の津波低減効果と遅延効果	993
3.8.2 基本断面の設定	961	7.7 その他	994
3.8.3 作用	964	8 木材取扱施設の防波堤	995
3.8.4 性能照査	964	8.1 一般	995
3.8.5 構造部材の性能照査	965	8.2 作用	995
3.8.6 構造細目	965	8.3 基本断面の設定	995
3.9 軟弱地盤着底式防波堤	966	8.4 構造細目	995
3.9.1 性能照査の基本	966	9 防砂堤	996
3.9.2 作用	967	9.1 一般	996
3.9.3 性能照査	967		
3.10 浮防波堤	968		
3.10.1 性能照査の基本	968		

9.2 性能照査	998	15.5.2 偶発対応施設の堤防	1028
10 防潮堤	999	16 突堤	1029
10.1 一般	1001	17 胸壁	1030
10.2 配置	1001	17.1 一般	1030
10.3 基本断面の設定	1001	17.2 基本断面の設定に関して配慮すべき事項	1031
10.4 作用と性能照査	1002	17.3 胸壁の天端高の設定	1031
11 導流堤	1004	17.4 作用	1031
11.1 一般	1004	17.5 性能照査	1031
11.2 性能照査	1005	17.5.1 性能照査	1031
12 水門	1006	17.5.2 偶発対応施設の胸壁	1032
12.1 一般	1008	18 埋没対策施設	1033
12.2 水門の配置・規模の設定	1009	18.1 総説	1033
12.3 水門の性能照査	1009	18.2 漂砂あるいは河川流下土砂を捕捉する ための施設	1034
13 閘門	1011	18.3 飛砂防止工	1035
13.1 一般	1011	18.3.1 一般	1035
13.2 閘門の配置・規模の設定	1012	18.3.2 工法の選定	1036
13.3 閘門の構造及び性能照査	1013	第5章 係留施設	1038
14 護岸	1015	1 総説	1038
14.1 一般	1016	1.1 係留施設の目的	1038
14.2 基本断面の設定に関して配慮すべき事項	1016	1.2 総論	1038
14.3 埋立造成と護岸築造に関して留意 すべき事項	1017	1.3 係留施設の規模及び配置	1038
14.4 護岸の天端高の設定	1017	1.4 係留施設の構造形式の選定	1039
14.5 作用	1021	1.5 耐震強化施設に関する留意点	1048
14.6 性能照査	1021	2 岸壁	1052
14.6.1 共通	1021	2.1 岸壁に共通する事項	1052
14.6.2 重力式護岸の性能照査	1023	2.1.1 岸壁の諸元	1055
14.6.3 矢板式護岸の性能照査	1024	2.1.2 洗掘防止工	1060
14.6.4 セル式護岸の性能照査	1024	2.1.3 生物共生型岸壁	1060
14.6.5 捨石式護岸の性能照査	1024	2.2 重力式係船岸	1062
14.6.6 消波ブロック被覆護岸の性能照査	1024	2.2.1 一般	1062
14.6.7 偶発対応施設の護岸	1024	2.2.2 作用	1064
14.6.8 構造細目	1024	2.2.3 性能照査	1069
14.7 生物共生型護岸	1025	2.2.4 地震時における施設の変形量に対する 性能照査	1075
14.8 親水性護岸	1026	2.2.5 セルラブロックの性能照査	1077
15 堤防	1027	2.2.6 構造部材の性能照査	1079
15.1 一般	1027	2.2.7 構造細目	1080
15.2 基本断面の設定に関して配慮すべき事項	1027	2.3 矢板式係船岸	1082
15.3 堤防の天端高の設定	1027	2.3.1 一般	1085
15.4 作用	1027	2.3.2 矢板式係船岸を軟弱地盤に対して 設置する際の留意事項	1086
15.5 性能照査	1028	2.3.3 断面諸元の仮定	1087
15.5.1 性能照査	1028		